

## 農政局だより@ひょうご

2023.11  
H-SATT

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp



## 農業女子シンポジウム

食と農の魅力発信 ～次世代への継承に向けて～  
in 関西学院大学 が開催されました

食育ピクトグラム



意見交換 “女性農業者 × 学生” 農業を考える！

食や農業に関心のある学生からの質問が飛び交う貴重な学びの場となり、農業の課題を「自分たち若者の課題」と捉え、持続可能な社会の実現のため、前向きに課題解決に取り組もうとする学生の姿が、希望を感じられたシンポジウムとなりました。

農林水産省では、これからも「農業女子プロジェクト」をはじめ、様々な施策を通じて、女性農業者の活躍を応援してまいります。

令和5年10月27日(金)、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスにおいて、ひょうごアグリプリンセスの会及び近畿農政局兵庫県拠点主催で、農業女子シンポジウム『食と農の魅力発信』～次世代への継承に向けて～が開催されました。

元気に楽しく農業に取り組む「女性農業者」2名から、これからの農業に向けての提案があり、農林水産省本省からは日本の食料事情等についての講演がありました。



## 「農業女子プロジェクト」とは

社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図る取り組みです。

ホームページは こちら ⇒ <https://nougyoujoshi.maff.go.jp>

農業女子PJ



## 近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第7回）の選定結果を公表しました！

～近畿における地域の活性化や所得向上の優良事例を選定～

近畿農政局は、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第10回選定）に応募のあった事例の中から、近畿独自の特徴ある優れた取組について、近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第7回）として、7地区及び1名を選定しました。

兵庫県からは、**東洋大学附属姫路高等学校 地域活性部 PROJEC TOYO（姫路市）、株式会社 八幡宮農（加古川市）**の2地区を、**コミュニティ・地産地消部門**で選定しました。

開発した商品  
（東洋大学附属姫路高等学校）純国産デュラム小麦  
「セトデュール」の圃場  
（八幡宮農）詳しくは <https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/231110.html>

## ～大人気！都会の中のストロベリー～

### 〈尼崎市猪名寺 ささはら菜園 笹原 篤史さん〉



尼崎市猪名寺でいちごのハウス栽培に取り組んでいる、ささはら菜園の笹原篤史さん(30歳)をご紹介します。

#### －就農したきっかけは？－

非農家の出身で、大学の就職活動中に、輸出用トマトを取り扱う会社のトマトを食し、その甘さに衝撃を受けました。その後、農家でアルバイト経験を積み、自ら農業に取り組みたいとの思いが強くなりました。

尼崎市でいちごを栽培し、摘みたてを提供できれば珍しいと考え、大学卒業後、神戸市のいちご農家のもとで3年間研修を受け、令和元年9月に「ささはら菜園」をスタート。現在、25aの農地にハウス4棟を建設し、「章姫」、「紅ほっぺ」を栽培しています。



#### －手応えを感じています－

いちごは、JA直売所、洋菓子店、百貨店、スーパーなどへ販売し、5月から6月にかけてはいちご狩りも行っています。

また、ハウスに隣接するカフェでいちごの直売や夏場は**自家製いちご100%**のかき氷を提供しています。

摘みたて新鮮いちごの評判はSNSや口コミ等によって広がり、お客様が増えていると感じています。

#### －今後の展開は？－

都市農業での規模拡大は難しく、商品に付加価値を付けていかなければならないと考えています。

そのため、新たに始めた養蜂を本格化し、来年以降カフェで「天然（採れたて）はちみつ」を使ったパンケーキの販売を予定しています。

【ささはら菜園のホームページはこちら】

<https://www.sasaharasaien.com/>



## 令和5年度食に関するセミナー（第3回）を開催します（参加費無料）

近畿農政局では、消費者の関心が高いテーマについて、正確でわかりやすい情報を幅広く提供することを目的として、令和5年度食に関するセミナー（第3回）を開催します。

- 1.開催日時：令和5年11月30日（木）10:30～12:00
- 2.開催場所：近畿農政局 第1会議室及びオンライン会議室（Teams）
- 3.開催内容：（1）京都市の食品ロス削減の取組みについて  
（2）食料・農業・農村基本法の見直しとみどりの食料システム戦略について
- 4.参加対象者：食に関心のある消費者（消費者団体含む）
- 5.募集人数：会場参加：20名、オンライン：60名（いずれも先着順）  
（※ 定員になり次第、受付を終了します。）
- 6.申込方法：インターネットによる受付フォームにて、必要事項をご記入の上、お申し込みください。（申込期限：令和5年11月27日（月））

詳しくは <https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/231031.html>





## ～自分が食べておいしいと思うトマトを栽培～ ＜淡路市 ブタとコジカの農楽園 田中孝樹さん＞

淡路市でミニトマトを中心に施設栽培を行っている、ブタとコジカの農楽園の田中孝樹さんを訪問し、お話を伺いました。

### －就農したきっかけは？－

奈良県出身で、前職は携帯電話の販売等をしていましたが、10年ほど前に「この仕事に自分の先はない。他人が作ったものを販売するのではなく、自分が作ったものを販売したい」と思い転職を検討しました。そんな時、新規就農者を取り上げたテレビ番組を見たことや、妻がシェフとして、店を出すときに協力したいと思い、自分は妻の店で出す材料を作る農業をやろうと決意し、大阪府の農業大学校の講座に1年間通いました。

わたしは以前、トマト嫌いでしたが、講座の中で初めて完熟トマト（桃太郎ゴールド）を食べた時の甘さに衝撃を受け、トマトを栽培しようと思いました。

講座終了後、大手の人材サービス企業が淡路で新規就農者を支援する事業に参加し、3年間農業の研修を受け、2017年に淡路市で就農しました。



### －良かったこと及び苦労したことは？－

現在、ビニールハウス4棟（約16a）でミニトマトを6品種、大玉トマトを1品種栽培し、無人販売所（9か所）、スーパー、観光施設及びインターネットで販売しています。なお、規模は、家族経営（わたしと妻）で栽培できる範囲と考えています。

良かったことは、元普及所職員の方など多くの人のご助力もあり、農地はすぐに見つけることができました。また、集落に以前からトマトを栽培している農家があり、研修をさせていただいたり相談にもものってもらいました。

苦労したことは、農地の近くに住居をなかなか見つけることができなかったことです。



### －今後の展望は？－

栽培技術を向上させ、収量の増加や生産性を上げ、売り上げを1.5～2倍にしたい。

また、妻の店（イタリア料理）で使用する野菜は、今はトマトですが、今後はすべての野菜を自分で栽培して、妻に協力したいと思っています。



## 環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

### 猪名川町 喜多 優次さん

#### 取組の紹介 ～ 次世代に安全で安心な野菜を ～

神戸生まれで神戸育ちでしたが、子どもの健康のために6年前に妻の実家がある猪名川町へ転居し就農しました。昨年、有機JAS認証を取得した20aの畑で、オクラ・ズッキーニ・タマネギなど約30品目50品種の野菜を妻と栽培しています。出荷先はほとんどが道の駅いながわで、一部を学校給食に提供しています。猪名川町ではまだまだ有機農業の生産者が少なく、町内で少しずつでも有機農業の面積が広がり、学校給食への有機野菜の提供も増えることを目標にしています。また有機農業の後継者育成にも力を入れたいと思っています。これからも未来を担う子どもたちに新鮮で安全安心な野菜を送り続けたいと思っています。



#### 簡単な経営概況

- ・露地野菜  
20a（有機）
- ・水稻  
1.8ha（慣行）

## 地域振興複合施設

### 淡路市「さの小テラス」

～地元で愛される施設を目指して～  
地域活性化、地産地消の取り組み

さの小テラスは「人口減少、過疎化が進む淡路市佐野地区の活性化」を目的として令和5年5月にオープンしました。

同施設は閉校となった佐野小学校を再利用し、地域住民と淡路市が協力して立ち上げた地域振興複合施設です。また、旧校舎をカフェ、産直売場、シェアオフィス等にリノベーションしており、観光施設としてだけでなく、会議やイベント等様々な用途で活用することができます。

さらに、産直売場では淡路島で収穫される新鮮な野菜や果物類、そして日本一の漁獲量を誇る生しらすや、魚介類、わかめなどの海産物を取り揃えており、地産地消の取り組みも推進しています。



イベント、ツアーの企画等を通じて、島外からの人の流入を促し、町の中を人が歩いてもらえるための拠点として地域の発展に寄与したいとのことです。

是非、さの小テラスに立ち寄ってみてはいかがでしょうか？



シェアオフィス



さのカフェ



産直売場

#### さの小テラス

- ・所在地：兵庫県淡路市佐野900
- ・TEL：0799-70-9113（受付時間：9:00～18:00）  
※各施設の営業時間はそれぞれのページでご確認ください
- ・定休日：毎週火曜日
- ※最新の情報はさの小テラスのホームページでご確認ください
- ・ホームページ

[https://sanosyo.com/sanosho\\_terrace/](https://sanosyo.com/sanosho_terrace/)



## 全国ジビエフェア2023を開催しています！

～この秋冬、日本のジビエを味わってみませんか～

農林水産省は、ジビエ（野生鳥獣肉）の普及、需要拡大に向け、「全国ジビエフェア2023」を開催しています。ジビエメニューを提供する全国の飲食店やご当地フェア等の情報を特設サイトで紹介していますので、この機会にぜひジビエを味わってみませんか。

1.開催時期：令和5年11月1日(水)～令和6年2月29日(木)

2.全国ジビエフェア2023特設サイト：<https://www.gibier-fair.jp/>

詳しくは

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/231026.html>



## 兵庫の秋の風景

イチヨウの木（加西市）



寒さも厳しさを増し  
葉も黄色に染まってきました

### 編集後記

秋はどこへ行った……日本は四季があり特に春と秋は過ごしやすい季節である。

しかし、近年春と秋が短くなったと感じる。特に今年の秋は短かったようで、夏が異常に長く10月も気温が高い日が続いた。11月になりやっと秋らしい日が来たと思えば、立冬を過ぎてから、いきなり気温が下がり最低気温も10℃を切り寒い日となった。これも温暖化の流れなのか、今年はインフルエンザが流行しているとのニュースも流れており、皆様もご注意ください。(N.A)

## 地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。